

令和7年（2025年）度
（第67期）

事業計画書
収支予算書

自 2025年4月1日
至 2026年3月31日

公益財団法人中外創薬科学財団

公益財団法人 中外創薬科学財団 令和 7 年(2025 年)度事業計画書

(令和 7 年(2025 年)4 月 1 日から令和 8 年(2026 年)3 月 31 日まで)

【令和 6 年(2024 年)度総括】

令和 6 年(2024 年)度の大きく変更となった事業は、「臨床腫瘍学教育プログラム派遣」において ST0 (Society for Translational Oncology) 事務局の資金難の影響により、STOFF (Society for Translational Oncology Fellows' Forum) が未開催になった事があげられます。今後の開催も見込めないため、令和 7 年(2025 年)度は、内閣府と相談の上、派遣先を SITC(米国、(Society for Immunotherapy of Cancer))が主催する教育プログラムに変更し、臨床腫瘍学教育プログラム派遣事業を継続いたします。また、令和 6 年(2024 年)度にて「アジア地域招聘国際共同研究助成金」の助成を全て終了し、令和 4 年(2022 年)度からスタートした「国際交流研究助成金」へ完全に移行しました。アジア限定から広く世界へグローバルに展開して参ります。その他の事業は全て予定通り実施致しました。

令和 6 年(2024 年)度は、名称変更、事業変更後 3 年目の年となり、事業の定着化も進んで参りました。助成事業への応募数も年々増加しており、財団活動の周知も高まったものと存じます。令和 7 年(2025 年)度も、基本理念に沿って全ての事業を実施して参ります。

【令和 7 年(2025 年)度事業計画】

(1) 経常収益と経常費用

令和 7 年(2025 年)度の経常収益のうち、出捐会社である中外製薬(株)より寄附として計画している 421,000 千円並びに一般寄附 1,000 千円及び基本財産公社債益及び株式配当金 3,439 千円の合計 425,439 千円を経常収益計として見込んでおります。出捐寄附の 421,000 千円については、公益目的事業費と法人会計(管理費)の按分比率が出捐会社より 75:25 の配分に設定されており、それに従い計画策定を行っております。令和 7 年(2025 年)度は公益目的事業のすべてを実施する前提で予算計画策定を行い、積み上げた結果、公益目的事業に振り分けられた経常収益 320,189 千円に対し経常費用として 372,179 千円を計上し、事業費は 51,990 千円の赤字計画となっております。一方法人会計(管理費)の経常費用は経常収益と同じ 105,250 千円を計上しており、当期経常増減額の合計は、51,990 千円の赤字となる見込みです。ただし、特別研究助成金 SRG2022 及び SRG2023 で計上されている 20,000 千円は、特定費用準備資金の口座から拠出されることから、実際の単年度の経常収支は 31,990 千円の赤字となる見込みです。

(2) 資金調達及び設備投資の見込みについて

- ① 資金調達の見込みについて
予定はない。
- ② 設備投資の見込みについて
予定はない。

(3) 各公益目的事業の具体的計画

【令和7年度の事業一覧】

褒賞事業	石館・上野賞 JCA-永山賞
助成事業	研究助成金Ⅰ 研究助成金Ⅱ 特別研究助成金 SRG2022、SRG2023(特定費用準備資金より拠出) 国際交流研究助成金 海外留学助成金 (A・B) 海外派遣・招聘補助金 (前半期・後半期) 海外招聘補助金(日本癌学会、日本臨床腫瘍学会) 奨学金 臨床腫瘍学教育プログラム派遣
フォーラム事業	国際がんフォーラム 2025 (IAAO 2025) オンコロジーサテライトフォーラム 助成研究報告会
教育資料・資料 の刊行	令和6年(2024年)度 中外創薬科学財団活動報告集 令和6年(2024年)度 中外創薬科学財団助成研究報告集 (web版) Proceedings of IAAO 2024(国際がんフォーラム 2024 記録集)

【各種事業内容】

① 石館・上野賞＜添付資料1＞

令和4年(2022年)度に褒賞事業として創設。創薬並びに生命科学に関する基礎から臨床にわたる研究において独創的発見・発明を行い、かつそれを基盤として将来も画期的成果をあげる事が期待される若手研究者に対して授与します。授賞式・受賞記念講演会はJCA-永山賞と合同で行います。令和7年(2025年)度の採択件数は1件1名とし、受賞者にトロフィー・賞状及び副賞の5,000千円を贈呈します。

② JCA-永山賞(令和4年度にJCA-CHAAO賞より名称変更)

本財団と日本癌学会が共同で2010年に創設された日本癌学会学術賞のひとつで、「日本発の新たな抗がん剤・治療法に関する研究・開発を行い、がん医療の発展に多大に貢献する成果物を創出した個人又はグループに対してその功績を称え、今後のがん研究の一層の振興を図る」ことを目的に表彰を行います。公募は日本癌学会が行い、選考は日本癌学会賞等選考委員会に本財団から専務理事、常務理事の2名が選考委員として加わり行われ、1名又は1グループの候補者の選考を行います。日本癌学会理事会で決定され、本財団理事会は結果について報告を受けます。日本癌学会学術総会にて授賞式が行われ、後日に石館・上野賞と合同で授賞式・受賞記念講演会を開催いたします。令和7年(2025年)度の日本癌学会学術総会での授賞式は9月27日に行われ、受賞者にトロフィー・賞状及び副賞2,000千円(個人の場合1,000千円)を贈呈します。

③ 研究助成金Ⅰ＜添付資料2＞

創薬並びに生命科学に関する基礎あるいは応用研究に関して、注目すべき革新的業績をあげている研究者に対し、研究助成金Ⅰを贈呈します。以下の4つの応募区分の研究テーマより募集を行います。

- (i) 化学あるいは物理学を基盤とした創薬及び創薬関連研究
- (ii) 生物学あるいは基礎医学を基盤とした基礎及び応用研究
- (iii) 臨床医学を基盤とした研究
- (iv) がんに関する基礎及び応用研究

令和7年(2025年)度は、応募区分テーマ(i)～(iv)の中から10件(1件4,000千円：初年度2,000千円、第二年度2,000千円に分けて贈呈)に贈呈します。令和

7 年度(2025 年)受領者初年度分 10 件及び令和 6 年(2024 年)度受領者二年度分 10 件で総額 40,000 千円を計上します。

④ 研究助成金 II <添付資料 3>

創薬並びに生命科学に関する基礎あるいは応用研究において、画期的成果をあげておりさらに意欲的に研究に取り組む研究者に対し、研究助成金 I で定めた応募区分の研究テーマに対する募集を行い、原則 40 歳以下の若手研究者(出産・育児等のライフイベントを考慮)に助成金の贈呈を行います。令和 7 年(2025 年)度は、18 件(1 件 1,500 千円)の贈呈を行います。総額 27,000 千円を計上します。

⑤ 特別研究助成金 SRG2022 <添付資料 4>

令和 4 年(2022 年)度より開始され「申請時点から遡って 2 年以内に独立して新たに研究室を立ち上げた研究者、あるいは近い将来立ち上げることが確約されている研究者」の中から 7 件(1 件 2,000 千円)に贈呈を行います。令和 7 年(2025 年)度は、7 件、総額 14,000 千円を計上します。なお、費用は特定費用準備資金より拠出いたします。

⑥ 特別研究助成金 SRG2023 <添付資料 5>

令和 5 年(2023 年)度より女性研究者の活躍を推進する目的で「日本国内の大学及び研究機関で、創薬並びに生命科学に関する基礎あるいは応用研究において、独創的かつ先進的研究テーマに取り組んでいる 45 歳以下の女性研究者で、申請時点で Principal Investigator (PI) ではない研究者」の中から 4 件(1 件 1,500 千円)に贈呈を行います。令和 7 年(2025 年)度は、4 件、総額 6,000 千円を計上します。なお、費用は特定費用準備資金より拠出いたします。

⑦ 国際交流研究助成金 <添付資料 6>

諸外国より若手研究者を日本の大学・研究機関に招聘し、日本と諸外国の若手研究者による創薬並びに生命科学に関する共同研究を助成する事を目的として、最長 2 年間の滞在費(320 千円/月)及び渡航費用を支給するとともに、受入研究者に研究助成金(年間 1,500 千円)を贈呈します。令和 7 年(2025 年)度受領者初年度分として 4 件、令和 6 年(2024 年)度受領者二年度分で 3 件(1 件辞退)、令和 5 年度受領者二年度分(来日の遅れ)の 3 件の合計 10 件に贈呈を行います。これに渡航費用を加え総額 40,740 千円を計上します。

⑧ 海外留学助成金 <添付資料 7>

令和 4 年(2022 年)度より、日本の若い研究者に対し海外で創薬並びに生命科学に関する研究を行い、研究のグローバル化を促進する目的で、海外留学における滞在費及び渡航費用の補助として海外留学助成金を贈呈します。1 年以上の海外留学に対し最長 2 年間を限度に助成を行います。募集は、海外留学助成金 A(これから留学される方)及び海外留学助成金 B(現在留学中の方)の年 2 回行い、令和 7 年(2025 年)度は A、B 併せて 4 件(4,500 千円/年、旅費は別途支給)の贈呈に加えて令和 6 年(2024 年)度受領者二年度分の 4 件を加え、渡航費等も加え総額 38,400 千円を計上します。

⑨ 海外派遣補助金 <添付資料 8>

海外で開催される創薬並びに生命科学に関する国際会議等への研究者の派遣に関して、渡航費及び滞在費などの経費を補助します。募集は前半期、後半期の年 2 回に分けて行います。令和 7 年(2025 年)度は、前・後半期併せて 2 件(500 千円以内/件)程度に贈呈を行います。

⑩ 海外招聘補助金 <添付資料 9>

日本国内で開催される創薬並びに生命科学に関する学術集会等への研究者の招聘に関して旅費及び滞在費等の経費を補助します。募集は前半期、後半期の年 2 回に分けて行います。令和 7 年(2025 年)度は、前・後半期併せて 6 件(500 千円以内/件)程度に贈呈を行います。

⑪ 海外招聘補助金(学術団体への補助)

日本癌学会学術総会並びに日本臨床腫瘍学会学術集会は、日本が、がん研究・がん治療の拠点になることを目的に、将来が期待される諸外国の若手研究者を対象に学会への参加、研究成果の発表を促進する支援事業(トラベルグラント、トラベルアワード)を行っており、これらの事業に対し助成を行います。令和7年(2025年)度は以下の金額を贈呈します。3,750千円(日本癌学会2,250千円、日本臨床腫瘍学会1,500千円)

⑫ 奨学金 <添付資料10>

若手研究者の育成を目的に、日本の大学等研究機関において、創薬並びに生命科学に関する研究に真摯に取り組む大学院生若しくは大学院研究生を対象として、奨学金(1件70千円/月)を給付します。令和7年(2025年)度は、令和6年(2024年)度に採択された10件に対し支給を行い、8,400千円を計上します。

⑬ 臨床腫瘍学教育プログラム(SITC)派遣 <添付資料11> ※派遣先変更

国内のがん領域の原則、40歳以下の若手の基礎研究者、臨床研究者及びがん専門医を派遣し、臨床腫瘍学の最新情報の習得並びに国際的なネットワーク作りの機会を提供する目的で、米国のSITC(米国、(Society for Immunotherapy of Cancer))が主催する臨床腫瘍学教育プログラムに3名を派遣します。財団は3名分の受講料等(7,500米ドル/件)、往復の渡航費を負担します。令和7年度は令和8年(2026年)2月頃に開催が予定されており、3名程度を派遣します。

⑭ 国際がんフォーラム2025(IAAO2025)の開催 <添付資料12>

日本のがん研究、がん治療の向上を目的として、がん研究領域における国内外の世界トップレベルの研究者・オピニオンリーダーを講演者として招聘し、国際がんフォーラム(IAAO)を日本にて開催します。日本の最先端のがん研究・治療を担う基礎研究者及びがん専門医約220名を招待し、公募により選定された40歳以下の若手研究者20名程度を加えて、総数約240名程度と招聘演者との情報交換・討議を行います。令和7年(2025年)度は、8月1、2日に虎ノ門ヒルズフォーラムにて開催します。講演者は国内外より14名を予定しており、参加者は、一般聴講者220名程度及び公募による新規講演者20名程度の約240名程度を予定しています。

⑮ オンコロジーサテライトフォーラムの開催

地方大学、大学病院、がん診療拠点病院、研究所などにおける、がんの基礎・臨床研究の向上、さらには地方での標準治療の普及促進を目的に、世界の最新のがん研究・治療にフォーカスした講演会、IAAO録画上映会の開催並びに講師派遣等の支援を行います。ウェブサイトより募集を行い、最大年4件開催します。

⑯ 助成研究報告会の開催

研究助成金、特別研究助成金、国際交流研究助成金、海外留学助成金のそれぞれの受領者による成果発表を行うとともに、研究者同士並びに財団関係者間の交流・親睦を図ります。令和7年(2025年)度は令和8年(2026年)3月に開催します。

⑰ 教育資料・資料の刊行

公益財団法人 中外創薬科学財団令和6年(2024年)度活動報告集の刊行

公益財団法人 中外創薬科学財団令和6年(2024年)度助成研究報告集(web版)の刊行

国際がんフォーラム2024記録集(Proceedings of IAAO 2024)の刊行

公益財団法人 中外創薬科学財団

令和 7 年(2025 年)度 第 4 回石館・上野賞候補者 推薦要項

趣 旨	創薬並びに生命科学に関する基礎から臨床にわたる研究において独創的発見・発明を行い、かつそれを基盤として将来も画期的成果をあげる事が期待される若手研究者に対して授与する。
候補者資格	1) 創薬並びに生命科学に関する基礎あるいは応用研究を行うことにより、注目すべき革新的業績をあげており、さらに意欲的に研究に取り組んでいる原則申請時に 45 歳以下の研究者（出産・育児等ライフイベントを考慮） 2) 日本国内の大学あるいは研究機関において研究を行う研究者 3) 原則、営利企業に属している研究者は除く 注) 2025 年度は 11 月 28 日に授賞式を開催する予定です。この式典において受賞者には受賞記念講演をして頂きますので、予期せぬ特段の理由を除き、この当日に出席できない方のご推薦はお控えください。
推 薦 者	推薦件数は 1 推薦者につき 1 件とする。 1) 国公立私立大学研究科及び附属研究機関等 1-1 総合大学：大学院研究科長（又は学部長） ※1 同一の研究科、学部の場合はいずれか 1 件の推薦とする ※2 大学附属病院に所属の場合、原則医学研究科長（医学部長）の推薦とする 1-2 単科大学：学長 1-3 大学附属研究機関等：代表責任者 2) 大学以外の公的研究機関： 本財団が承認した研究機関の代表責任者 ※3 不明な場合には事務局までお問い合わせください 3) 本財団の理事 4) 各学会の代表者 *推薦資格を持つ者が本人自身を推薦することはできない。
授 与 件 数	1 件（受賞者数は原則 1 名とする）
募 集 期 間	令和 7 年（2025 年）5 月 1 日～ 6 月 30 日
推 薦 方 法	本財団ウェブサイト 褒賞事業ページにある「第 4 回 石館・上野賞推薦方法」よりメールアドレスを登録後、自動送信されますメールに書かれている推薦用 URL より申請してください。（「 <u>第 4 回 石館・上</u>

	<u>野賞 推薦方法</u>は募集期間のみ入力可能) (https://c-finds.com/business/reward/) <u>申請は推薦者が行うこと。</u> 【申請時必要書類】 ・推薦書（「候補者の業績」）（※） ・代表論文 3 報（PDF） （※）フォーマットは推薦用 URL より表示される入力フォームよりダウンロードすること。
選 考 方 法	選考委員会で審議し、理事会で決定する。
選 考 結 果 の 通 知	選考の結果は、9 月頃にウェブサイトにて採択者一覧を公開する。公開前日に申請者全員にウェブサイトの URL を電子メールにて通知する。なお、採択者及びその推薦者には別途採択通知を郵送する。
授 賞 式 ・ 記 念 講 演 会	受賞者には石館・上野賞として賞状並びにトロフィー及び副賞 500 万円を贈呈。 受賞者は JCA-永山賞と合同で行う授賞式・受賞記念講演会に出席し、講演を行うこと。【2025 年 11 月 28 日（金）に開催予定】
そ の 他	1) 受賞対象となった研究に関する情報（氏名、所属、略歴、受賞対象となった研究テーマ、研究内容等）を財団ウェブサイト及び活動報告集に公表・掲載する。 2) 申請書類は採否に関わらず一切返却しない。 3) 推薦者のマイページ登録は不要です。
お問い合わせ	公益財団法人 中外創薬科学財団 事務局 助成事務担当 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 4-11-5 住友不動産日本橋本町ビル 9 階 TEL:03-5843-6733(代表)、E-mail: grant@c-finds.com

公益財団法人 中外創薬科学財団
令和 7 年(2025 年)度 研究助成金 I 募集要項

趣 旨	創薬並びに生命科学に関する基礎あるいは応用研究に関して注目すべき革新的業績をあげており、さらに意欲的に研究に取り組む研究者に対して研究助成金を贈呈する。
応 募 資 格	1)創薬並びに生命科学に関する基礎あるいは応用研究を行うことにより、注目すべき革新的業績をあげており、さらに意欲的に研究に取り組んでいる研究者 2)本財団が定める以下の 4 つの研究テーマのいずれかに関する研究に従事している研究者 3)日本国内の大学あるいは研究機関において研究を行う研究者 4)原則、営利企業に属している研究者は除く 5)大学院生は除く
研究テーマ	(1) 化学あるいは物理学を基盤とした創薬及び創薬関連研究 (2) 生物学あるいは基礎医学を基盤とした基礎及び応用研究 (3) 臨床医学を基盤とした研究 (4) がんに関する基礎及び応用研究
助 成 金 額	400 万円（初年度 200 万円、次年度 200 万円に分けて交付）
助 成 期 間	2 年（助成金交付から 2028 年 3 月 31 日）
助 成 件 数	10 件程度
募 集 期 間	令和 7 年（2025 年）5 月 1 日～ 6 月 30 日
募 集 方 法	本財団ウェブサイトよりマイページ登録後、申請手順の流れに沿って申請すること。 【申請時必要書類】 ・研究助成金 I 申請書（研究概要）（※） （※）フォーマットは募集期間中に申請受付フォームよりダウンロードすること。
選 考 方 法	選考委員会で審議し、理事会で決定する。
採 択 結 果 の 通 知	採否の結果は 12 月下旬にウェブサイトにて採択者一覧を公開する。公開前日に申請者全員にウェブサイトの URL を電子メールにて通知する。なお、採択者には別途採択通知を郵送する。
助成金の交付	2026 年 1～3 月頃に指定された銀行口座に振込む。
助成金の使途	研究に要する物品の購入費用及びその研究の推進に必要な費用とする。所属機関の研究費使用規定に従って会計処理を行うこと。

	注) 本財団からの助成金は全額を研究費に充てていただく方針のため、所属機関へ支払う間接経費／オーバーヘッドに関しては所属機関内で免除申請を行ってください。
報告の義務	1) 助成期間が終了する年度に開催する財団主催の助成研究報告会で発表を行うこと。 2) 「中間報告書」を初年度終了時にマイページより提出すること。 3) 「研究報告書」及び「収支報告書」を助成期間終了時（令和10年（2028年）4月30日まで）にマイページより提出すること。 4) 研究成果を外部発表される場合は「公益財団法人 中外創薬科学財団（英文名：Chugai Foundation for Innovative Drug Discovery Science）の助成による」旨を記載し、外部発表の論文のコピー等をPDFにて電子メールに添付のうえ、財団宛に送付すること。 例文 [和文]：本研究は、公益財団法人 中外創薬科学財団（C-FINDs）の助成を受けたものです。 [英文]：This work was supported by Chugai Foundation for Innovative Drug Discovery Science : C-FINDs. 5) 申請書記載内容に変更が生じた場合は、速やかに電子メールにて変更内容について財団宛に報告すること。
その他	1) 申請は、学術研究助成（研究助成金Ⅰ、研究助成金Ⅱ、特別研究助成金）において、1申請者につき1件とする。 2) 申請書類は採否に関わらず一切返却しない。 3) 採択された申請に関する情報（氏名、所属、研究テーマ、研究内容等）を財団ウェブサイト及び活動報告集、助成研究報告集に公表・掲載する。
お問い合わせ	公益財団法人 中外創薬科学財団 事務局 助成事務担当 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 4-11-5 住友不動産日本橋本町ビル 9 階 TEL:03-5843-6733(代表)、E-mail: grant@c-finds.com

公益財団法人 中外創薬科学財団
令和7年(2025年)度 研究助成金Ⅱ 募集要項

趣 旨	創薬並びに生命科学に関する基礎あるいは応用研究において画期的成果をあげており、さらに意欲的に研究に取り組む研究者に対して研究助成金を贈呈する。
応 募 資 格	1) 創薬並びに生命科学に関する基礎あるいは応用研究を行うことにより、画期的成果をあげており、さらに意欲的に研究に取り組んでいる原則申請時に40歳以下の研究者（出産・育児等ライフイベントを考慮） 2) 本財団が定める以下の4つの研究テーマのいずれかに関する研究に従事している研究者 3) 日本国内の大学あるいは研究機関において研究を行う研究者 4) 原則、営利企業に属している研究者は除く 5) 大学院生は除く
研究テーマ	(1) 化学あるいは物理学を基盤とした創薬及び創薬関連研究 (2) 生物学あるいは基礎医学を基盤とした基礎及び応用研究 (3) 臨床医学を基盤とした研究 (4) がんに関する基礎及び応用研究
助 成 金 額	150万円
助 成 期 間	1年（助成金交付から2027年3月31日）
助 成 件 数	18件程度
募 集 期 間	令和7年（2025年）5月1日～6月30日
募 集 方 法	本財団ウェブサイトよりマイページ登録後、申請手順の流れに沿って申請すること。 【申請時必要書類】 ・研究助成金Ⅱ申請書（研究概要）（※） （※）フォーマットは募集期間中に申請受付フォームよりダウンロードすること。
選 考 方 法	選考委員会で審議し、理事会で決定する。
採 択 結 果 の 通 知	採否の結果は12月下旬にウェブサイトにて採択者一覧を公開する。 公開前日に申請者全員にウェブサイトのURLを電子メールにて通知する。なお、採択者には別途採択通知を郵送する。
助成金の交付	2026年1～3月頃に指定された銀行口座に振込む。
助成金の使途	研究に要する物品の購入費用及びその研究の推進に必要な費用と

	する。所属機関の研究費使用規定に従って会計処理を行うこと。 注) 本財団からの助成金は全額を研究費に充てていただく方針のため、所属機関へ支払う間接経費／オーバーヘッドに関しては所属機関内で免除申請を行ってください。
報告の義務	1) 助成期間が終了する年度に開催する財団主催の助成研究報告会で発表を行うこと。 2) 「研究報告書」及び「収支報告書」を助成期間終了時（令和9年（2027年）4月30日まで）にマイページより提出すること。 3) 研究成果を外部発表される場合は「公益財団法人 中外創薬科学財団（英文名：Chugai Foundation for Innovative Drug Discovery Science）の助成による」旨を記載し、外部発表の論文のコピー等をPDFにて電子メールに添付のうえ、財団宛に送付すること。 例文 [和文]：本研究は、公益財団法人 中外創薬科学財団（C-FINDs）の助成を受けたものです。 [英文]：This work was supported by Chugai Foundation for Innovative Drug Discovery Science：C-FINDs. 4) 申請書記載内容に変更が生じた場合は、速やかに電子メールにて変更内容について財団宛に報告すること。
その他	1) 申請は、学術研究助成（研究助成金Ⅰ、研究助成金Ⅱ、特別研究助成金）において、1申請者につき1件とする。 2) 申請書類は採否に関わらず一切返却しない。 3) 採択された申請に関する情報（氏名、所属、研究テーマ、研究内容等）を財団ウェブサイト及び活動報告集、助成研究報告集に公表・掲載する。
お問い合わせ	公益財団法人 中外創薬科学財団 事務局 助成事務担当 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 4-11-5 住友不動産日本橋本町ビル 9階 TEL:03-5843-6733(代表)、E-mail: grant@c-finds.com

公益財団法人 中外創薬科学財団
 令和7年(2025年)度 特別研究助成金
 SRG2022 (Special Research Grant 2022) 募集要項

趣 旨	2年以内に独立して新たに研究室を立ち上げた研究者、あるいは近い将来立ち上げることが確約されている研究者に対して研究助成金を贈呈する。なお、本財団には特別研究助成金は複数あるが、「SRG20XX」として区別されており、本研究助成金は「SRG2022」である。
応 募 資 格	1) 創薬並びに生命科学に関する基礎あるいは応用研究を行うことにより、革新的かつ注目すべき業績をあげている原則申請時に50歳以下の研究者 2) 申請時点から遡って2年以内に完全に独立して新たに研究室を立ち上げた研究者 ^{*1} 、あるいは近い将来立ち上げることが確約されている研究者。研究テーマは問わない 3) 日本国内の大学あるいは研究機関において研究を行う研究者 4) 原則、営利企業に属している研究者は除く ^{*1} 研究室の主宰者（多くの場合、教授）であること。研究室内のグループ長等は対象外とする。
助 成 金 額	200万円
助 成 期 間	1年（助成金交付から2027年3月31日）
助 成 件 数	7件程度
募 集 期 間	令和7年（2025年）5月1日～6月30日
募 集 方 法	本財団ウェブサイトよりマイページ登録後、申請手順の流れに沿って申請すること。 【申請時必要書類】 ・特別研究助成金申請書（研究概要）（※） 申請時にまだ研究室を立ち上げていない場合には、採用通知書等の研究室の主宰者となることが確約されていることが記載された書類を提出していただきます。 （※）フォーマットは募集期間中に申請受付フォームよりダウンロードすること。
選 考 方 法	選考委員会で審議し、理事会で決定する。

採 択 結 果 の 通 知	採否の結果は12月下旬にウェブサイトにて採択者一覧を公開する。 公開前日に申請者全員にウェブサイトのURLを電子メールにて通知する。なお、採択者には別途採択通知を郵送する。
助成金の交付	2026年1～3月頃に指定された銀行口座に振込む。
助成金の使途	研究に要する物品の購入費用及びその研究の推進に必要な費用とする。所属機関の研究費使用規定に従って会計処理を行うこと。 注) 本財団からの助成金は全額を研究費に充てていただく方針のため、所属機関へ支払う間接経費／オーバーヘッドに関しては所属機関内で免除申請を行ってください。
報 告 の 義 務	1) 助成期間が終了する年度に開催する財団主催の助成研究報告会で発表を行うこと。 2) 「研究報告書」及び「収支報告書」を助成期間終了時（令和9年（2027年）4月30日まで）にマイページより提出すること。 3) 研究成果を外部発表される場合は「公益財団法人 中外創薬科学財団（英文名：Chugai Foundation for Innovative Drug Discovery Science）の助成による」旨を記載し、外部発表の論文のコピー等をPDFにて電子メールに添付のうえ、財団宛に送付すること。 例文 [和文]：本研究は、公益財団法人 中外創薬科学財団（C-FINDs）の助成を受けたものです。 [英文]：This work was supported by Chugai Foundation for Innovative Drug Discovery Science : C-FINDs. 4) 申請書記載内容に変更が生じた場合は、速やかに電子メールにて変更内容について財団宛に報告すること。
そ の 他	1) 申請は、学術研究助成（研究助成金Ⅰ、研究助成金Ⅱ、特別研究助成金）において、1申請者につき1件とする。 2) 申請書類は採否に関わらず一切返却しない。 3) 採択された申請に関する情報（氏名、所属、略歴、研究テーマ、研究内容等）を財団ウェブサイト及び活動報告集、助成研究報告集に公表・掲載する。
お問い合わせ	公益財団法人中外創薬科学財団 事務局 助成事務担当 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 4-11-5 住友不動産日本橋本町ビル 9 階 TEL:03-5843-6733(代表)、E-mail: grant@c-finds.com

公益財団法人 中外創薬科学財団
令和7年(2025年)度 特別研究助成金
SRG2023 (Special Research Grant 2023) 募集要項

趣 旨	わが国における女性研究者の活躍を推進することを目的として、女性が業績をあげやすい研究基盤整備の一環として女性研究者限定の研究助成を行う。その中でも下記の応募資格に最適な研究者に対して研究助成金を贈呈する。なお、本財団には特別研究助成金は複数あるが、「SRG20XX」として区別されており、本研究助成金は「SRG2023」である。
応 募 資 格	1) 創薬並びに生命科学に関する基礎あるいは応用研究において、現時点で独創的かつ先進的研究テーマに取り組んでいる45歳以下の女性研究者 2) 日本国内の大学あるいは研究機関において研究を行っており、かつ申請時点でPrincipal Investigator (PI) ではない研究者 3) 1)の年齢制限に関しては、出産・育児のライフイベントを経験された方は年齢制限を48歳以下とする 4) 原則、営利企業に属している研究者は除く 5) 大学院生を除く
助 成 金 額	150万円
助 成 期 間	1年（助成金交付から2027年3月31日）
助 成 件 数	4件程度
募 集 期 間	令和7年（2025年）5月1日～6月30日
募 集 方 法	本財団ウェブサイトよりマイページ登録後、申請手順の流れに沿って申請すること。 【申請時必要書類】 ・特別研究助成金申請書（研究概要）（※） （※）フォーマットは募集期間中に申請受付フォームよりダウンロードすること。
選 考 方 法	選考委員会で審議し、理事会で決定する。
採 択 結 果 の 通 知	採否の結果は12月下旬にウェブサイトにて採択者一覧を公開する。公開前日に申請者全員にウェブサイトのURLを電子メールにて通知する。なお、採択者には別途採択通知を郵送する。

助成金の交付	2026 年 1～3 月頃に指定された銀行口座に振込む。
助成金の使途	研究に要する物品の購入費用及びその研究の推進に必要な費用とする。所属機関の研究費使用規定に従って会計処理を行うこと。 注) 本財団からの助成金は全額を研究費に充てていただく方針のため、所属機関へ支払う間接経費／オーバーヘッドに関しては所属機関内で免除申請を行ってください。
報 告 の 義 務	1) 助成期間が終了する年度に開催する財団主催の助成研究報告会で発表を行うこと。 2) 「研究報告書」及び「収支報告書」を助成期間終了時（令和 9 年（2027 年）4 月 30 日まで）にマイページより提出すること。 3) 研究成果を外部発表される場合は「公益財団法人 中外創薬科学財団（英文名：Chugai Foundation for Innovative Drug Discovery Science）の助成による」旨を記載し、外部発表の論文のコピー等を PDF にて電子メールに添付のうえ、財団宛に送付すること。 例文 [和文]：本研究は、公益財団法人 中外創薬科学財団（C-FINDs）の助成を受けたものです。 [英文]：This work was supported by Chugai Foundation for Innovative Drug Discovery Science : C-FINDs. 4) 申請書記載内容に変更が生じた場合は、速やかに電子メールにて変更内容について財団宛に報告すること。
そ の 他	1) 申請は、学術研究助成（研究助成金Ⅰ、研究助成金Ⅱ、特別研究助成金）において、1 申請者につき 1 件とする。 2) 申請書類は採否に関わらず一切返却しない。 3) 採択された申請に関する情報（氏名、所属、略歴、研究テーマ、研究内容等）を財団ウェブサイト及び活動報告集、助成研究報告集に公表・掲載する。
お問い合わせ	公益財団法人 中外創薬科学財団 事務局 助成事務担当 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 4-11-5 住友不動産日本橋本町ビル 9 階 TEL:03-5843-6733(代表)、E-mail: grant@c-finds.com

公益財団法人 中外創薬科学財団
令和 8 年(2026 年)度 国際交流研究助成金 募集要項

趣 旨	日本国外より若手研究者を日本国内の大学あるいは研究機関に招聘し、日本国内の大学研究機関等に所属する研究者（受入研究者）と日本国外の若手研究者（招聘される研究者）による創薬並びに生命科学に関する国際交流研究を支援することを目的として、最長 2 年間の滞在費を支給するとともに、受入研究者には国際交流研究の推進に必要な費用として研究助成金を贈呈する。
招 聘 さ れ る 研究者の資格	1) 博士号取得者もしくは 3 月末までに博士号取得見込みの研究者 2) 日本国内の大学研究機関等に所属する受入研究者と国際交流研究を計画し、かつ日本国内の受入研究機関において研究する場所を確保できる研究者 3) 原則、申請時に日本国外に滞在している研究者 4) 原則、申請時に 40 歳以下の研究者（出産・育児等ライフイベントを考慮） 5) 日本国籍を持つ者及び申請時に日本に永住を許可されている外国人は除く
受 入 研 究 者 （申請者）の 要 件	1) 日本国内の生命科学研究・創薬科学研究（臨床研究を含む）分野の大学研究機関等に所属する常勤の研究者（講師、室長相当以上） 2) 原則、営利企業に属している研究者は除く
助 成 金 額	招聘される研究者に対して、32 万円／月の滞在費並びに来日一時金（20 万円）と渡航航空券代金（一時金並びに往路航空券代金は、研究期間開始前より日本在住の場合は支払われません） 受入研究者に対して、150 万円／年の研究助成金
助 成 期 間	原則 1 年以上、最長 2 年（来日から 2 年間） 原則として令和 8 年(2026 年)4 月以降 9 月までの間に来日して研究を開始すること。
助 成 件 数	4 件程度
募 集 期 間	令和 7 年（2025 年）7 月 1 日～ 8 月 31 日
募 集 方 法	本財団ウェブサイトよりマイページ登録後、申請手順の流れに沿って申請すること。

	申請及び問合せは必ず受入研究者が行うこと。 【申請時必要書類】 ・国際交流研究助成金申請書（研究概要）（※） ・受入研究機関の受入承諾書（※） ・招聘される研究者用申請書（FormA・英語）（※） ・招聘される研究者の履歴書（写真付）、業績目録 ・招聘される研究者の学位証明書（写） 見込みの場合には、研究科長名等で発行した「見込み証明書」（写） ・母国の大学院の指導教員等からの推薦書（FormB・英語）（※） <FormB が提出できない場合には FormC を提出すること> ・招聘される研究者を良く知る日本国内の大学及び研究機関の研究者（受入研究者以外）の推薦書（FormC）（※） （※）フォーマットは募集期間中に申請受付フォームよりダウンロードすること。（※）がついていない書類のフォーマットは任意。
選 考 方 法	選考委員会で審議し、理事会で決定する。
採 択 結 果 の 通 知	選考結果は 12 月下旬にウェブサイトにて採択者一覧を公開する。 公開前日に申請者全員にウェブサイトの URL を電子メールにて通知する。なお、採択者には別途採択通知を郵送する。
助成金の交付	助成金は原則来日 2 週間前までに指定された銀行口座に振込む。 滞在費は来日後、毎月原則 25 日に招聘される研究者本人の指定された銀行口座に振込む。
助成金の使途	受入研究者が受領する研究助成金については、研究に要する物品の購入費用及びその研究の推進に必要な費用とする。所属機関の研究費使用規定に従って会計処理を行うこと。 注）本財団からの助成金は全額を研究費に充てていただく方針のため、所属機関へ支払う間接経費／オーバーヘッドに関しては所属機関内で免除申請を行ってください。
招 聘 さ れ る 研究者の義務	1) 採用期間中は日本国内に滞在し、受入研究機関の研究計画に基づいて研究に専念し、他の業務に就かないこと。 2) 助成期間が終了する年度に開催する財団主催の助成研究報告会で発表を行うこと。

	3) 「C-FINDs Postdoctoral Fellowship Research Report by C-FINDs Postdoctoral Fellow (Form14)」を助成期間終了時に提出すること。 4) 研究成果を外部発表される場合は「公益財団法人 中外創薬科学財団（英文名：Chugai Foundation for Innovative Drug Discovery Science）の助成による」旨を記載し、外部発表の論文のコピー等を PDF にて電子メールに添付のうえ、財団宛に送付すること。 例文 [和文]：本研究は、公益財団法人 中外創薬科学財団（C-FINDs）の助成を受けたものです。 [英文]：This work was supported by Chugai Foundation for Innovative Drug Discovery Science : C-FINDs.
受入研究者の 義 務	1) 「研究報告書」及び「収支報告書」を助成期間終了時にマイページより提出すること。 2) 助成期間が終了する年度に開催する財団主催の助成研究報告会において、招聘される研究者が発表することが原則であるが、招聘される研究者が帰国等の理由により発表できない場合は受入研究者が発表を行うこと。 3) 研究成果を外部発表される場合は「公益財団法人 中外創薬科学財団（英文名：Chugai Foundation for Innovative Drug Discovery Science）の助成による」旨を記載し、外部発表の論文のコピー等を PDF にて電子メールに添付のうえ、財団宛に送付すること。 例文 [和文]：本研究は、公益財団法人 中外創薬科学財団（C-FINDs）の助成を受けたものです。 [英文]：This work was supported by Chugai Foundation for Innovative Drug Discovery Science : C-FINDs. 4) 申請書記載内容に変更が生じた場合は、速やかに電子メールにて変更内容について財団宛に報告すること。
そ の 他	1) 申請書類は採否に関わらず一切返却しない。 2) 採択された申請に関する情報（氏名、所属、研究テーマ、研究内容等）を財団ウェブサイト及び活動報告集、助成研究報告集に公表・掲載する。

〈添付資料6〉

	3) 財団に対する申請、照会等は全て受入研究者を通じて対応すること。 4) 過去に受領していたことがある受入研究者に関しては、一度招聘された研究者とは別の研究者に対しての申請であれば、申請可能とする。ただし、同一年度に複数の研究者を受け入れることはできない。
お問い合わせ	公益財団法人 中外創薬科学財団 事務局 助成事務担当 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 4-11-5 住友不動産日本橋本町ビル 9 階 TEL:03-5843-6733(代表)、E-mail: grant@c-finds.com

公益財団法人 中外創薬科学財団

令和 7 年(2025 年)度 海外留学助成金 A (これから留学される方)

募集要項

趣 旨	海外の大学等の研究機関において創薬並びに生命科学に関する基礎あるいは応用研究を行う事を目的とした海外留学を促進するために、若手研究者に最長 2 年間の留学に伴う経費を補助する。 海外留学助成金 A (これから留学される方)は<u>これから留学を開始する方を対象とした助成金</u>です。
応 募 資 格	1) 創薬並びに生命科学に関する基礎あるいは応用研究を行うために、以下の所定の期間に留学を開始し、1 年以上海外の研究機関で研究を行うことが内定している方。 2) 申請時に日本国内の大学あるいは研究機関において研究を行っている方。 3) 博士号取得者もしくは留学開始までに博士号取得見込みである研究者で原則、申請時に 35 歳以下の方（出産・育児等ライフイベントを考慮）。 4) 原則、2026 年 12 月末日までに留学を開始できる方。 ただし、申請後から採否決定前までに留学を開始する場合には、別紙の項目 2 を参照のこと。 5) 本財団が定める以下の研究テーマのいずれかに関する研究に従事できる方。 6) 留学先研究機関の責任者または受入研究室の責任者の承諾を得ている方。受入先承諾書（レターヘッド付き書面にて受入先責任者のサインがあるもの）を提出できる方。 7) 申請者の現在の研究指導者からの留学承諾書を提出できる方。 8) 原則、営利企業に属していない方、及び研究テーマが商業目的ではない方。
研 究 テ ー マ	(1) 生命科学研究：日本人の死因が高位である、がん、循環器疾患、老衰、呼吸器疾患、認知症などの領域を中心として、その病態バイオロジーの解明に関する研究など。 (2) 創薬基盤研究：革新的創薬に必要な基幹技術(有機化学合成、スクリーニング技術、AI 創薬、マイクロバイオーム創薬などの新規技術を含む)に関する研究など。 (3) 創薬応用研究：基礎から臨床に至るトランスレーショナルな研究や薬物の作用機序や動態を研究し、革新的治療法を確立する

	ことに関する研究など。
助 成 金 額	滞在費 450 万円／年（往復航空チケット代は別途支給）
助 成 期 間	原則として 1 年以上、最長 2 年間
助 成 件 数	2 件程度
募 集 期 間	令和 7 年（2025 年）8 月 1 日～9 月 15 日
募 集 方 法	本財団ウェブサイトよりマイページ登録後、申請手順の流れに沿って申請すること。 <u>申請は留学する研究者本人が行うこと。</u> 【申請時必要書類】 ・申請書（概要）（※） ・申請者の研究指導者からの留学承諾書（※） ・履歴書（※） ・学位記（写し） ただし、申請時に博士号取得見込みの場合には、「学位記提出に関わる申出」を提出すること。 ・海外学術研究機関の受入承諾書（レターヘッド付き書面） 提出書類については、「別紙の項目 1」並びにウェブサイトの「助成金申請に関するよくあるご質問」を参照のこと。 （※）フォーマットは<u>募集期間中に</u>申請受付フォームよりダウンロードすること。
選 考 方 法	選考委員会で審議し、理事会で決定する。
採 択 結 果 の 通 知	採否の結果は、12 月下旬にウェブサイトにて採択者一覧を公開する。公開前日に申請者全員にウェブサイトの URL を電子メールにて通知する。なお、採択者には別途採択通知を郵送する。
助成金の交付	原則、留学出発日 1 ヶ月前に指定された銀行口座に一括で振込む。次年度は、3 か月ごとに指定された銀行口座に振込む。
報 告 の 義 務	1) 留学出発日 1 ヶ月前までに留学先住所及び E-mail アドレス等を必ず報告すること。また、留学先が途中で変更になる場合や帰国時にも必ず報告すること。

	2) 「中間報告書」を留学開始1年後にマイページより提出すること。 3) 「研究報告書」を助成期間終了後1か月以内にマイページより提出すること。研究報告の内容については、報告を財団宛に行うことの了解を事前に留学先に得ておくこと。 4) 帰国後直近に行われる財団主催の助成研究報告会にて発表を行うこと。 5) 研究成果を外部発表する場合は「公益財団法人 中外創薬科学財団（英文名：Chugai Foundation for Innovative Drug Discovery Science）の助成による」旨を記載し、外部発表の論文のコピー等をPDFにて電子メールに添付のうえ、財団宛に送付すること。 例文 [和文]：本研究は、公益財団法人 中外創薬科学財団（C-FINDs）の助成を受けたものです。 [英文]：This work was supported by Chugai Foundation for Innovative Drug Discovery Science：C-FINDs. 6) 申請書記載内容に変更が生じた場合は、届出を電子メールに添付のうえ、速やかに財団宛てに提出すること。
そ の 他	1) 本財団の学術研究助成金、奨学金と本助成金を重複して受領することはできない。ただし、学術研究助成金、奨学金の受領が今年度で終了し、これらの助成が予定されていない次年度にこの海外留学助成金Aを開始するために今年度に海外留学助成金Aに申請することは可能。 2) 往復の航空チケット(エコノミークラス)を滞在費とは別に支給する。 3) 申請書類は採否に関わらず一切返却しない。 4) 採択された申請に関する情報（氏名、所属、研究テーマ、研究内容等）を財団ウェブサイト及び活動報告集、助成研究報告集に公表・掲載する。 5) 過去に海外留学助成金を受領したことがある場合には再度申請することはできない。 6) 既に留学をしている場合には、海外留学助成金B（現在留学中の方）に申請すること。 7) 本助成金に申請した場合には、今年度募集を行う海外留学助成金Bに申請することはできない。
お問い合わせ	公益財団法人 中外創薬科学財団 事務局 海外留学助成事務担当

〈添付資料7〉

	〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 4-11-5 住友不動産日本橋本町ビル 9 階 TEL:03-5843-6733(代表)、E-mail: grant@c-finds.com
--	--

別 紙

1. 申請時提出書類に関する注意事項

(1) 海外学術研究機関の「受入承諾書」について

受入先研究機関のレターヘッドのある、留学先受入研究者（PI）から申請者宛ての受入承諾書をアップロードしてください。以下の項目が記載されていることを確認してください。

- ・ 留学受入期間（年月日）
- ・ 受入先でのポジション
- ・ 受入先研究機関からの給与支給有無、有る場合には金額
- ・ 留学先受入研究者のサイン

受入期間について、受入承諾書には受入研究機関の規定等により、「留学期間 1 年間」に記載が制限されている場合において（すなわち留学期間 2 年間と記載できない場合）、2 年目の助成金の受領が内定していれば留学期間の延長が認められる場合には、その旨を申請フォームの「その他」欄に記載したうえで、申請時に「留学期間」、「希望する助成期間」ともに 2 年の期間で申請することは可能です。

(2) 学位記（写し）について

既に博士号を取得している方は、学位記の写しを PDF ファイルにして提出してください。

申請時に取得見込み方については、学位記提出に関わる申出*（様式指定あり）を提出してください。

*学位記提出に関わる申出は次ページの通りに文面を作成し、PDF ファイルにして提出してください。

また、採択された場合には、学位記（写し）を留学開始前までに必ず事務局宛てに提出してください。振込み手続きは提出を確認した後に行います。提出できない場合は採用を取り消すことがあります。

学位記提出に関わる申出（様式）

学位記提出に関わる申出 年 月 日 公益財団法人中外創業科学財団 理事長 上野 幹夫 殿 申請者は 20YY 年 MM 月に博士課程修了見込みであり、学位取得後は学位記の写しを速やかに提出します。 学位記の写しが提出できない場合は、海外留学助成金 A の申請を辞退いたします。 申請者名： 現 所 属： 身 分：
--

2. 申請後から採択前に留学を開始する場合の確認事項

採択は12月下旬を予定しておりますが、採択決定前までに留学を開始する場合は、採択の条件として、以下の2項目を満たす必要があります。

- ① 2026年1月から12月の期間内に助成を開始すること。2027年1月以降の開始は認められません。
- ② 助成を開始する日より留学期間終了まで1年以上の期間がある必要があります。
助成を開始した日を起算日とし、その日から最長2年間が助成期間となります。
また、往路の航空チケット代については、財団のガイドラインに沿って支給いたします。詳細は事務局までお問合せください。

公益財団法人 中外創薬科学財団
令和 7 年(2025 年)度 海外留学助成金 B (現在留学中の方)
募集要項

趣 旨	海外の大学等の研究機関において創薬並びに生命科学に関する基礎あるいは応用研究を行う事を目的とした海外留学を促進するために、若手研究者に最長 2 年間の留学に伴う経費を補助する。 海外留学助成金 B (現在留学中の方) は<u>現在留学中の方</u>を対象としており、引き続き留学を継続するための助成金です。
応 募 資 格	1) 創薬並びに生命科学に関する基礎あるいは応用研究を行うために、以下の所定の期間(助成を開始後)に 1 年以上、海外の研究機関で研究を行うことが内定している方。 2) 申請時に海外の研究機関において研究を行っている方。 3) 博士号を取得している研究者で原則、申請時に 35 歳以下の方(出産・育児等ライフイベントを考慮)。 4) 日本在住の経験があり、日本の創薬・生命科学研究に貢献できる方。 5) 2026 年 4 月から 2027 年 3 月までに助成を開始でき、かつ助成を開始してから 1 年以上研究を継続することが内定している方。 6) 本財団が定める以下の研究テーマのいずれかに関する研究に従事できる方。 7) 留学先研究機関の責任者または受入研究室の責任者の承諾を得ている方。受入先承諾書(レターヘッド付き書面にて受入先責任者のサインがあるもの)を提出できる方。 8) 原則、営利企業に属していない方、及び研究テーマが商業目的ではない方。
研 究 テ ー マ	(1) 生命科学研究：日本人の死因が高位である、がん、循環器疾患、老衰、呼吸器疾患、認知症などの領域を中心として、その病態バイオロジーの解明に関する研究など。 (2) 創薬基盤研究：革新的創薬に必要な基幹技術(有機化学合成、スクリーニング技術、AI 創薬、マイクロバイオーム創薬などの新規技術を含む)に関する研究など。 (3) 創薬応用研究：基礎から臨床に至るトランスレーショナルな研究や薬物の作用機序や動態を研究し、革新的治療法を確立することに関する研究など。

〈添付資料7〉

助 成 金 額	滞在費 450 万円／年（復路航空チケット代は別途支給）
助 成 期 間	原則として 1 年以上、最長 2 年間
助 成 件 数	2 件程度
募 集 期 間	令和 7 年（2025 年）11 月 1 日～12 月 15 日
募 集 方 法	本財団ウェブサイトよりマイページ登録後、申請手順の流れに沿って申請すること。 <u>申請は留学中の研究者本人が行うこと。</u> 【申請時必要書類】 ・申請書（概要）（※） ・履歴書（※） ・海外学術研究機関の受入承諾書（レターヘッド付き書面） 詳細については、「別紙」並びにウェブサイトの「助成金申請に関するよくあるご質問」を参照のこと。 （※）フォーマットは<u>募集期間中に申請受付フォームよりダウンロードすること。</u>
選 考 方 法	選考委員会で審議し、理事会で決定する。
採 択 結 果 の 通 知	採否の結果は、3 月頃にウェブサイトにて採択者一覧を公開する。公開前日に申請者全員にウェブサイトの URL を電子メールにて通知する。なお、採択者には別途採択通知を電子メールに添付して送付する。
助成金の交付	原則、助成開始 1 ヶ月前に指定された銀行口座に一括で振込む。次年度は、3 か月ごとに指定された銀行口座に振込む。
報 告 の 義 務	1) 助成開始 1 ヶ月前までに留学先住所及び E-mail アドレス等を必ず報告すること。また、留学先が途中で変更になる場合や帰国時にも必ず報告すること。 2) 「中間報告書」を助成開始 1 年後にマイページより提出すること。 3) 「研究報告書」を助成期間終了後 1 か月以内にマイページより提出すること。研究報告の内容については、報告を財団宛に行うことの了解を事前に留学先に得ておくこと。 4) 帰国後直近に行われる財団主催の助成研究報告会にて発表を行うこと。 5) 研究成果を外部発表する場合は「公益財団法人 中外創薬科学財団（英文名：Chugai Foundation for Innovative Drug Discovery

	Science) の助成による」旨を記載し、外部発表の論文のコピー等を PDF にて電子メールに添付のうえ、財団宛に送付すること。 例文 [和文]：本研究は、公益財団法人 中外創薬科学財団 (C-FINDs) の助成を受けたものです。 [英文]：This work was supported by Chugai Foundation for Innovative Drug Discovery Science : C-FINDs. 6) 申請書記載内容に変更が生じた場合は、届出を電子メールに添付のうえ、速やかに財団宛てに提出すること。
そ の 他	1) 本財団の学術研究助成金、奨学金と本助成金を重複して受領することはできない。ただし、学術研究助成金、奨学金の受領が今年度で終了し、これらの助成が予定されていない次年度にこの海外留学助成金Bを開始するために、今年度に海外留学助成金Bに申請することは可能。 2) 復路の航空チケット(エコノミークラス)を滞在費とは別に支給する。 3) 申請書類は採否に関わらず一切返却しない。 4) 採択された申請に関する情報(氏名、所属、研究テーマ、研究内容等)を財団ウェブサイト及び活動報告集、助成研究報告集に公表・掲載する。 5) 過去に海外留学助成金を受領したことがある場合には再度申請することはできない。 6) これから留学を開始する場合は、海外留学助成金A(これから留学される方)に申請すること。
お問い合わせ	公益財団法人 中外創薬科学財団 事務局 海外留学助成事務担当 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 4-11-5 住友不動産日本橋本町ビル 9 階 TEL:03-5843-6733(代表)、E-mail: grant@c-finds.com

別 紙

申請時提出書類に関する注意事項

海外学術研究機関の「受入承諾書」について

受入先研究機関のレターヘッドのある、留学先受入研究者（PI）から申請者宛ての受入承諾書をアップロードしてください。以下の項目が記載されていることを確認してください。

- ・ 留学受入期間（年月日）
- ・ 受入先でのポジション
- ・ 受入先研究機関からの給与支給有無、有る場合には金額
- ・ 留学先受入研究者のサイン

受入期間について、受入承諾書には受入研究機関の規定等により、「留学期間 1 年間」に記載が制限されている場合において（すなわち留学期間 2 年間と記載できない場合）、2 年目の助成金の受領が内定していれば留学期間の延長が認められる場合には、その旨を申請フォームの「その他」欄に記載したうえで、申請時に「留学期間」、「希望する助成期間」とともに 2 年の期間で申請することは可能です。

公益財団法人 中外創薬科学財団
令和 7 年(2025 年)度 海外派遣補助金 募集要項

趣 旨	海外で開催される創薬並びに生命科学に関する国際会議等において、招待講演あるいは特別講演を行う日本在住の研究者の派遣に関して、旅費及び滞在費などの経費を補助する。 募集は年度の前半期（4 月～9 月）と後半期（10 月～3 月）に開催予定の国際会議等に対して、2 回に分けて行う。
応 募 資 格	1) 海外で開催される創薬並びに生命科学に関する国際会議等において招待講演あるいは特別講演を行う日本在住の 40 歳以下の研究者（一般の口頭発表あるいはポスター発表などは対象外）。 2) 原則、営利企業に属している研究者は除く。
助 成 金 額	50 万円以内／件
助 成 件 数	前・後半期併せて 2 件程度
募 集 期 間	① 2025 年度後半期（10 月～3 月）に開催予定の国際会議等に対して <u>令和 7 年(2025 年) 5 月 1 日～6 月 15 日</u> ② 2026 年度前半期（4 月～9 月）に開催予定の国際会議等に対して <u>令和 7 年(2025 年) 11 月 1 日～12 月 15 日</u> *2025 年前半期(4 月～9 月)開催予定の国際会議等への派遣募集は終了しています。
募 集 方 法	本財団ウェブサイトよりマイページ登録後、申請手順の流れに沿って申請すること。 <u>申請は招待講演あるいは特別講演を行う研究者本人が行うこと。</u> 【申請時必要書類】 ・海外派遣補助金申請書（講演要旨等を含む）（※） ・当該会議からの講演依頼状（電子メール可）の写し ・招待講演あるいは特別講演で発表することが明記されている当該会議のプログラム （ただし、申請時に間に合わない場合は提出予定時期を記載した理由書を提出することで申請可能。採択された場合には、国際会議等開始 1 か月前までに事務局宛てに提出すること。提出を確認後に振込み手続きを行う。提出できない場合は採用を取り消すことがある。） (※)フォーマットは <u>募集期間中に申請受付フォームよりダウンロード</u>

〈添付資料 8〉

	ドすること。
選 考 方 法	選考委員会で審議し、理事会で決定する。
採 択 結 果 の 通 知	採否の結果は、2025 年度後半期は 9 月頃、2026 年度前半期は 3 月頃にウェブサイトにて採択者一覧を公開する。公開前日に申請者全員にウェブサイトの URL を電子メールにて通知する。なお、採択者には別途採択通知を郵送する。
助成金の交付	原則、国際会議等開催 1 か月前に指定された銀行口座に振込む。
助成金の使途	国際会議等への参加に必要な経費（旅費、滞在費等）
報 告 の 義 務	1) 帰国後 1 か月以内に、「成果報告書」、「収支報告書」をマイページより提出すること。 2) 申請書記載内容に変更が生じた場合は、速やかに電子メールにて変更内容について財団宛に報告すること。
そ の 他	1) 申請書類は採否に関わらず一切返却しない。 2) 採択された申請に関する情報（氏名、所属、会議名等）を財団ウェブサイト及び活動報告集、助成研究報告集に公表・掲載する。
お問い合わせ	公益財団法人 中外創薬科学財団 事務局 助成事務担当 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 4-11-5 住友不動産日本橋本町ビル 9 階 TEL:03-5843-6733(代表)、E-mail: grant@c-finds.com

公益財団法人 中外創薬科学財団
令和7年(2025年)度 海外招聘補助金 募集要項

趣 旨	日本国内で開催される創薬並びに生命科学に関する学術集会等において、招待講演あるいは特別講演を行う外国在住の研究者の招聘に関して、旅費及び滞在費等の経費を補助する。募集は年度の前半期（4月～9月）と後半期（10月～3月）に開催予定の学術集会等に対して、2回に分けて行う。
応 募 資 格	学術集会等の会長（学会長または実行委員長）
招 聘 さ れ る 研 究 者 資 格	招聘される研究者は学術集会において招待講演あるいは特別講演を行う外国在住の研究者であって、一般の口頭発表あるいはポスター発表を行う研究者等は対象外。
助 成 金 額	50万円以内／件
助 成 件 数	前・後半期併せて6～8件程度
募 集 期 間	① 2025年度後半期（10月～3月）に開催予定の学術集会等に対して <u>令和7年(2025年)5月1日～6月15日</u> ② 2026年度前半期（4月～9月）に開催予定の学術集会等に対して <u>令和7年(2025年)11月1日～12月15日</u> ＊2025年前半期（4月～9月）に開催予定の学術集会等の募集は終了しています。
募 集 方 法	本財団ウェブサイトよりマイページ登録後、助成申請の流れに沿って申請すること。 <u>申請は学術集会等の会長（学会長または実行委員長）が行うこと。</u> 【申請時必要書類】 ・海外招聘補助金申請書（講演要旨等を含む）（※） ・招聘される研究者の講演依頼承諾書（電子メール可）の写し ・招聘される研究者が招待講演あるいは特別講演で発表することが明記されている当該学術集会等のプログラム （ただし、申請時に間に合わない場合は提出予定時期を記載した理由書を提出することで申請可能。採択された場合には、学術集会等開始1か月前までに事務局宛てに提出すること。提出を確認後に振込み手続きを行う。提出できない場合は採用を取り消すことがある。） ・学術集会等の収支計画

〈添付資料 9〉

	(※)フォーマットは募集期間中に申請受付フォームよりダウンロードすること。
選 考 方 法	選考委員会で審議し、理事会で決定する。
採 択 結 果 の 通 知	採否の結果は、2025 年度後半期は 9 月頃、2026 年度前半期は 3 月頃にウェブサイトにて採択者一覧を公開する。公開前日に申請者全員にウェブサイトの URL を電子メールにて通知する。なお、採択者には別途採択通知を郵送する。
助成金の交付	原則、学術集会等開催 1 か月前に指定された銀行口座に振込む。
助成金の使途	学術集会等への参加に必要な経費（旅費、滞在費等）
報 告 の 義 務	1) 当該学術集会等終了後 1 か月以内に、「成果報告書」、「収支報告書」をマイページより提出すること。 2) 申請書記載内容に変更が生じた場合は、速やかに電子メールにて変更内容について財団宛に報告すること。
そ の 他	1) 申請書類は採否に関わらず一切返却しない。 2) 採択された申請に関する情報（申請者及び招聘される研究者の氏名、所属、学術集会名等）を財団ウェブサイト及び活動報告集、助成研究報告集に公表・掲載する。
お問い合わせ	公益財団法人 中外創薬科学財団 事務局 助成事務担当 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 4-11-5 住友不動産日本橋本町ビル 9 階 TEL:03-5843-6733(代表)、E-mail: grant@c-finds.com

別 紙

1. 学術集会等の収支計画に関する補足説明

学術集会等の収支計画について、収入の部、支出の部を分けて記載した資料をご提出ください。ファイルは PDF ファイルに変換したファイルをアップロードしていただきますようお願いいたします。

なお、開催趣意書等資料に記載されている場合には趣意書をご提出していただいても結構です。

収支計画（記入例）		
第〇回 〇〇学術集会		
収入の部（予定）		
費用項目	予算額（円）	内訳・備考
学会参加費	3,800,000	一般会費 円× 名
寄附金	1,500,000	
企業展示	2,000,000	件
その他 補助金等	1,000,000	〇〇学会
合計	8,300,000	
支出の部（予定）		
費用項目	予算額（円）	内訳・備考
会場費等	2,450,000	会場費、機材、吊看板等
招聘旅費	3,200,000	謝金、宿泊費
webサイト、システム費用	700,000	
プログラム等印刷費	600,000	
業務委託費	1,350,000	
合計	8,300,000	

公益財団法人 中外創薬科学財団
令和 8 年(2026 年)度 奨学金 推薦要項

趣 旨	若手研究者の育成を目的に、日本の大学等研究機関において、創薬並びに生命科学に関する研究に真摯に取り組む大学院生若しくは大学院研究生を対象として、奨学金を給付する。
受 領 候 補 者 資 格	1) 日本の大学等研究機関において、創薬並びに生命科学に関する研究に真摯に取り組む大学院生若しくは大学院研究生、並びに翌年度大学院進学予定者。 2) 本財団以外より 1 件月額 10 万円を超える奨学金等助成金を受領している方は除く。(JSPS 特別研究員を含む)
推 薦 者	1) 推薦件数は 1 推薦者につき 1 件とする。 2) 1 研究室 (大学病院の場合は医局) から 1 件とし、推薦者は研究室の主宰者 (多くの場合、教授) とする。
助 成 金 額	7 万円/月
助 成 期 間	1 年であるが、標準修業年限内であれば繰り返し応募可能。 (助成期間は最長で標準修業年限とする)
助 成 件 数	10 件程度
募 集 期 間	令和 7 年 (2025 年) 11 月 1 日～ 12 月 15 日
推 薦 方 法	本財団ウェブサイト 研究助成ページにある「奨学金 推薦方法」よりメールアドレスを登録後、自動送信されますメールに書かれている推薦用 URL より申請してください。 <u>(「奨学金推薦方法」は募集期間のみ入力可能)</u> (https://c-finds.com/business/grant/research/#syogaku) <u>申請は受領対象者を推薦する研究指導者が行うこと。</u> 【申請時必要書類】 ・申請書 (履歴書: 写真付) (※) (※)フォーマットは推薦用 URL より表示される入力フォームよりダウンロードすること。
選 考 方 法	選考委員会で審議し、理事会で決定する。
採 択 結 果 の 通 知	採否の結果は 3 月にウェブサイトにて採択者一覧を公開する。公開前日に申請者全員にウェブサイトの URL を電子メールにて通知する。なお、採択者には別途採択通知を郵送する。

補助金の交付	3 か月分を 4、7、10、1 月（原則 25 日）に、奨学金受領者本人の指定された銀行口座に振込む。
報告の義務	1) 「研究報告書」を助成期間終了時（令和 9 年(2027 年)3 月 31 日まで）にマイページより提出すること。 2) 申請書記載内容に変更が生じた場合は、速やかに電子メールにて変更内容について財団宛に報告すること。
そ の 他	1) 本奨学金は、返還の義務はない。 2) 申請書類は採否に関わらず一切返却しない。 3) 採択された申請に関する情報（氏名、所属、研究テーマ、研究内容等）を財団ウェブサイト及び活動報告集、助成研究報告集に公表・掲載する。 4) 推薦者のマイページ登録は不要です。
お問い合わせ	公益財団法人 中外創薬科学財団 事務局 助成事務担当 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 4-11-5 住友不動産日本橋本町ビル 9 階 TEL:03-5843-6733(代表)、E-mail: grant@c-finds.com

公益財団法人中外創薬科学財団

令和7年度(2025年度)臨床腫瘍学教育プログラム派遣 募集要項

趣 旨	日本のがんの基礎研究、臨床研究を行う若手研究者の育成並びに海外研究者との人的・研究ネットワーク形成を目的に、米国がん免疫学会(SITC)が主催する臨床腫瘍免疫学教育プログラム:SITC Clinical Immuno-Oncology Network(SCION) Workshopへの参加を支援する。同プログラムでは、臨床試験プロトコルの開発及び腫瘍免疫学の基礎から最新情報を学ぶ。
プログラム概要	1. 臨床試験プロトコルの開発 腫瘍免疫領域における、応募者が企画する臨床試験プロトコルに対して、SCION workshopにて専門家講師や患者から助言を得ると共に小グループでの討議を通してプロトコルのデザイン等を最適化する。 2. 腫瘍免疫学の基礎・最新情報の講義 SCION workshopと並行して開催されるWinter Schoolにて腫瘍免疫学の基礎・最新情報の講義を受講する。 ＜詳細は以下リンクを参照ください＞ SITC Clinical Immuno-Oncology Network (SCION) Workshop - Society for Immunotherapy of Cancer (SITC)
開催概要	SCION workshop/Winter School 開催時期: 令和8年(2026年)2月16日～2月20日 開催会場: SITC事務局の定める米国内の施設。
応募資格	1) 原則40歳以下(出産・育児等ライフイベントを考慮)のがん領域の基礎研究者、臨床研究者あるいはがん専門医である方。 2) 論文投稿等でがん領域に優れた研究実績がある方。 3) 腫瘍免疫領域における臨床試験の実施を考えている方。 4) 英語で議論を行うことができる方。 5) 原則、営利企業に属していない方。 6) SITC事務局が指定する全研修日程に参加できる方。 7) SITCが求める必要書類(プロトコル概要を含む)を採択後速やかに提出できる方。 8) 所属上長の承諾書を提出できる方。 9) 本財団より、参加後にSCION受講に関するフィードバックを目的とした面談の要請があった場合は、協力できる方。

助 成 件 数	3 名
募 集 期 間	令和 7 年（2025 年）6 月 1 日～ 7 月 15 日
募 集 方 法	当財団ウェブサイトよりマイページ登録後、申請の流れに沿って申請すること。 申請は派遣を希望する本人が行うこと。 【申請時必要書類】 ・申請対象者の所属上長からの承諾書（※） ・英文履歴書（※） （※）フォーマットはマイページより入手すること。 システムフォーマットに入力する以外に上記の書類をアップロードで提出すること。
選 考 方 法	選考委員会で審議し、理事会（9 月開催）で決定する。
採 択 結 果 の 通 知	採択者一覧公開ページの URL を電子メールにて通知し、採択者へは採択通知を個別に送付する（9 月末を予定）。
参加に関わる経 費	参加費、宿泊費、交通費を財団にて負担する。
報 告 の 義 務	1) 当プログラム終了後 1 か月以内に、「報告書」A4 1 枚（※）をマイページより提出すること。 （※）フォーマットはマイページより入手すること。 2) 申請書記載内容に変更が生じた場合は、速やかに電子メールにて変更内容について財団宛に報告すること。
そ の 他	1) 申請書類は採否に関わらず一切返却しない。 2) 採択された申請に関する情報（氏名、所属等）ならびに参加報告書を財団ウェブサイト及び財団活動報告集に公表・掲載する。
お問い合わせ	公益財団法人中外創薬科学財団 事務局 SCION 担当 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 4-11-5 住友不動産日本橋本町ビル 9 階 TEL:03-5843-6733(代表)、E-mail: iaao@c-finds.com

公益財団法人中外創薬科学財団
IAAO 2025 新規聴講者 募集要項

趣 旨	国際がんフォーラム 2025 (IAAO 2025)では、がん研究の若手の基礎研究者、臨床研究者及びがん専門医への学術情報の提供及び教育の支援を図ることを目的として新規聴講者の参加公募枠を設ける。
開 催 概 要	開催日時：2025 年 8 月 1 日（金）、2 日（土） 開催会場：虎ノ門ヒルズフォーラム 演者情報：1 st Announcement を参照
応 募 資 格	1) 原則申請時 40 歳以下（出産・育児等ライフイベントを考慮）のがん領域の基礎研究者、臨床研究者あるいはがん専門医である方。 2) 論文投稿等でがん領域に優れた研究実績がある方。 3) 英語での講演を聴講でき、また講演内容に関する議論に参加できる方。 4) 原則、IAAO 全日程に参加が可能な方。 5) 原則、営利企業に属していない方。
募 集 人 数	20 名程度
募 集 期 間	令和 7 年（2025 年）3 月 1 日～ 3 月 31 日
募 集 方 法	当財団ウェブサイトよりマイページ登録後、申請の流れに沿って申請すること。 申請は聴講を希望する本人が行うこと。 【申請時必要書類】 ・ IAAO 新規聴講者申請書（※） （※）フォーマットはマイページより入手すること。 システムフォーマットに入力する以外に上記の書類をアップロードで提出すること。
選 考 方 法	選考委員会で審議し、理事会で決定する。
採 択 結 果 の 通 知	採択者一覧公開ページの URL を電子メールにて通知し、採択者へは採択通知を個別に送付する。
参加に関わる経 費	必要経費は財団にて実費精算する。
報 告 の 義 務	1) フォーラム終了後に参加報告書 A4 1 枚程度（※）を、令和 7 年（2025 年）8 月 30 日までにマイページより提出すること。 （※）フォーマットはマイページより入手すること。 2) 申請書記載内容に変更が生じた場合は、速やかに電子メールに

〈添付資料 1 2〉

	て変更内容について財団宛に報告すること。
そ の 他	1) 申請書類は採否に関わらず一切返却しない。 2) 採択された申請に関する情報（氏名、所属等）を財団ウェブサイト及び財団活動報告集に公表・掲載する。
お問い合わせ	公益財団法人中外創薬科学財団事務局 IAAO 担当 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 4-11-5 住友不動産日本橋本町ビル 9 階 TEL:03-5843-6733(代表)、E-mail: iaao@c-finds.com

令和7年(2025年)度 収支予算書(正味財産増減予算書)

自 2025年4月1日 至 2026年3月31日

(単位:円)

科 目	公益目的事業費	法人会計	合 計	備 考
I. 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	2,619,000	0	2,619,000	債券利息
② 基本財産受取配当金	820,000	0	820,000	株式配当
③ 特定資産運用益	0	0	0	
④ 受取寄付金(出捐寄附)	315,750,000	105,250,000	421,000,000	公益目的事業費と法人会計(管理費)の按分比率は75:25
(一般寄附)	1,000,000	0	1,000,000	
経常収益計	320,189,000	105,250,000	425,439,000	
(2) 経常費用				
① 事業費			0	
役員報酬	11,600,000	0	11,600,000	
給料手当	20,000,000	0	20,000,000	職員給与
福利厚生費	3,200,000	0	3,200,000	職員冠婚葬祭、懇親費等
会議費	387,000	0	387,000	
旅費交通費	65,253,000	0	65,253,000	
通信運搬費	547,000	0	547,000	
減価償却費	730,000	0	730,000	
消耗品費	235,000	0	235,000	
印刷製本費	4,750,000	0	4,750,000	令和4年度財団活動報告集、Proceedings of IAAO 2023、抗悪性腫瘍一覧表・ポケット版
賃借料	19,707,000	0	19,707,000	
諸謝金	16,610,000	0	16,610,000	役割者謝金、選考委員謝金など
支払表彰金	7,000,000	0	7,000,000	石館・上野賞、JCA-永山賞
支払助成金	186,790,000	0	186,790,000	特別研究助成金20,000,000円は特定費用準備資金より拠出
委託費	7,120,000	0	7,120,000	表彰トロフィー制作費用、助成システム制作費用、web会議配信業者費用など
会場費	11,400,000	0	11,400,000	IAAO、褒章事業表彰式、助成研究報告会他会場使用料等
情報調査費	3,500,000	0	3,500,000	演者・座長等打ち合わせ費用
審査料	13,190,000	0	13,190,000	選考委員会審査料
雑費	160,000	0	160,000	
事業費計	372,179,000	0	372,179,000	
② 管理費				
役員報酬	0	7,000,000	7,000,000	
給料手当	0	20,000,000	20,000,000	
退職給付費用	0	1,725,000	1,725,000	
福利厚生費	0	3,700,000	3,700,000	
会議費	0	7,140,000	7,140,000	講演会、報告会等情報交換会費等
旅費交通費	0	200,000	200,000	
通信運搬費	0	2,050,000	2,050,000	
減価償却費	0	2,000,000	2,000,000	
消耗品費	0	550,000	550,000	
印刷製本費	0	1,950,000	1,950,000	財団パンフレット等
水道光熱費	0	1,727,000	1,727,000	
賃借料	0	14,477,000	14,477,000	
租税公課	0	83,000	83,000	
支払寄付金	0	1,800,000	1,800,000	海外の研究所2件に寄付(MGH、MIT-WHITE HEAD)
委託費	0	4,000,000	4,000,000	HP製作費、会計ソフト経理ソフト、
新聞図書費	0	235,000	235,000	
雑費	0	36,613,000	36,613,000	
管理費計	0	105,250,000	105,250,000	
経常費用計	372,179,000	105,250,000	477,429,000	
当期経常増減額	△ 51,990,000	0	△ 51,990,000	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
当期経常外収益計			0	
(2) 経常外費用				
当期経常外費用計			0	
当期経常外増減額			0	
当期一般正味財産増減額			△ 51,990,000	
一般正味財産期首残高			210,302,000	見込額
一般正味財産期末残高			158,312,000	
II. 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額			0	
指定正味財産期首残高			565,100,000	見込額
指定正味財産期末残高			565,100,000	
III. 正味財産期末残高			723,412,000	